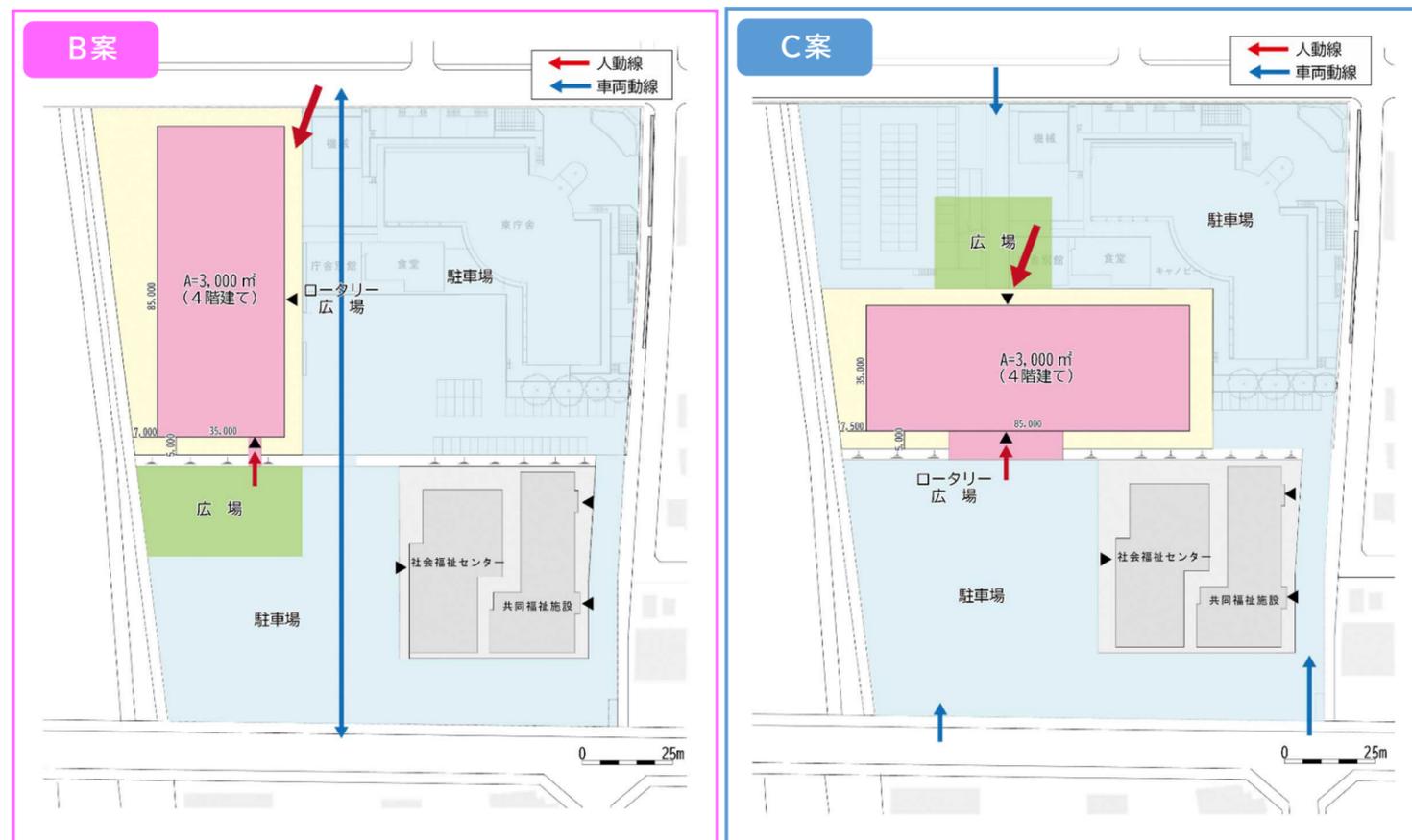
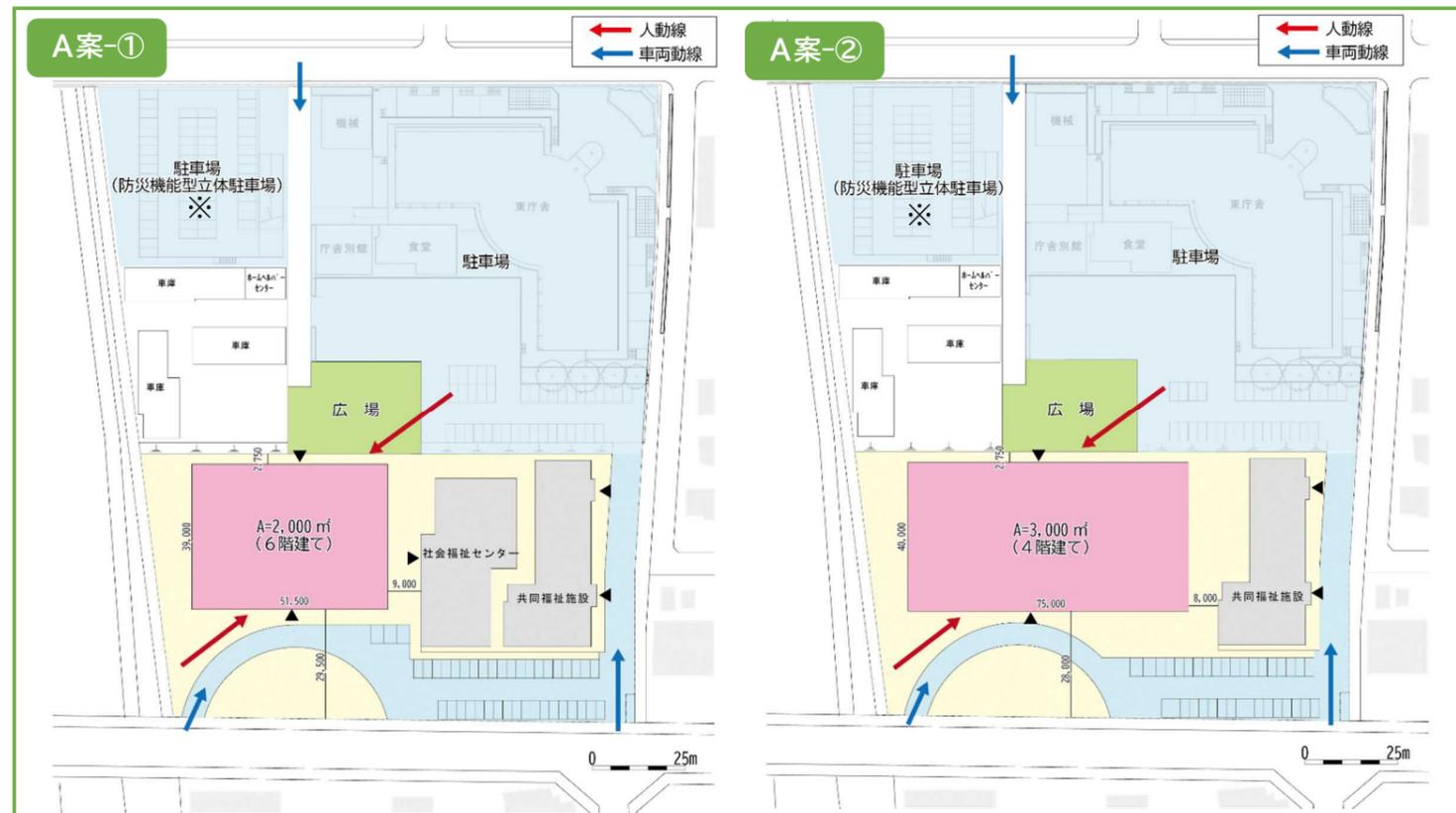


資料③ ボリューム検討（建替え案）

■新築棟（配置位置・ボリューム 比較検討）



A案-①	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南中央消防署跡地に建設する場合 ・延床面積：約 12,000 m² 1階あたりの面積：A=2,000 m² 6階建て
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量が多い南側道路（県道草津伊賀線・旧国道1号線）に対して開けた空間となるためアクセスしやすい。 ・社会福祉センターを解体しないため移転先等の調整が不要
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・1階あたりのフロア面積が狭くなるため、1階に市民交流スペースが十分に確保できない。また窓口などの市民サービス機能が1フロアで納まらず、上下階で分断される可能性がある。 ・6階建てと階数が高いため、周辺環境との調和がとりにくい。
A案-②	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南中央消防署跡地と社会福祉センター跡地に建設する場合 ・延床面積：約 12,000 m² 1階あたりの面積：A=3,000 m² 4階建て
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量が多い南側道路（県道草津伊賀線・旧国道1号線）に対して開けた空間となるためアクセスしやすい。 ・広い面積が確保できるため、ゆとりのある庁舎計画が行える。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉センターを解体後に建設するため社会福祉協議会などの移転を行う必要がある。 ・間口(75m)が広いため圧迫感を感じる。
B案	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・旧給食センター跡地に建設する場合 ・延床面積：約 12,000 m² 1階あたりの面積：A=3,000 m² 4階建て
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・南側駐車場エリアからも直接庁舎内へアプローチが可能。 ・県道に対し離隔が取れるため圧迫感を抑えられる。 ・敷地中央に南北の車動線が確保できる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の多い県道からロータリー広場が離れた位置となる。 ・公用車車庫、水防倉庫の移設・解体が必要（上下水道棟の移転・解体の可能性あり） ・県道から正対していないためシンボリック性や視認性に欠ける
C案	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・東庁舎の西側に建設する場合 ・延床面積：約 12,000 m² 1階あたりの面積：A=3,000 m² 4階建て
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・南側を正面とする場合、A案-②と比較すると県道草津伊賀線との離隔が取れるため圧迫感は緩和される ・県道に対して正面となるため、視認性は比較的高い。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・南北方向の車動線は遠くなる。 ・業務継続により東庁舎を利用するため、工事中の騒音や振動が懸念される。 ・公用車車庫、水防倉庫の移設・解体が必要

※防災機能型立体駐車場：火災時の煙の蓄積を避けるために外壁を設けない構造や、備蓄コンテナの設置等を備えた立体駐車場であり、現段階ではあくまで案としており確定されたものではありません。